

	申請者氏名	赤木 暢
論文名	Pulsed High-field ESR Study of Electromagnons in Multiferroic $\text{Sr}_2\text{CoSi}_2\text{O}_7$	
国際会議名	ISMAR-APNMR 2021	
開催地	Online	
参加期日	2021年8月22日～2021年8月27日	
参加目的：		
<p>$\text{Sr}_2\text{CoSi}_2\text{O}_7$ のパルス強磁場電子スピン共鳴(ESR)測定において観測されたエレクトロマグノンについて発表を行う。ESR や NMR など磁気共鳴を専門とする科学者が集まる「ISMAR-APNMR 2021」に参加し、本研究成果について議論を深めることと整備した測定系の紹介が目的である。</p>		
会議の状況：		
<p>本会議は、ESR や NMR など磁気共鳴を専門とする科学者が集まる国際会議である。私の専門である物性物理だけでなく、装置開発、化学、生物など講演内容は多岐にわたり、様々な専門分野を持つ研究者によって活発な議論が行われていた。今回の会議は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催された。</p>		
成果概要：		
<p>パルス強磁場電子スピン共鳴測定で観測できた $\text{Sr}_2\text{CoSi}_2\text{O}_7$ における一方向透過性についてポスターセッションにて発表を行った。一方向透過性の観測された磁気励起について、その微視的解明を目指し研究を進めている最中であり、発表を通じ議論を深めることができた。オンライン開催であったため、現地開催の場合と比較すると聴衆はすこし少な目といった感じではあるが、議論を深める・開発した測定系を紹介するといった目的は、果たせたと感じている。</p> <p>また、会議では磁気共鳴の幅広い分野の最近の成果を聞くことができ、非常に有意義であった。望月基金からの援助により、このような貴重な機会を得ることができました。心より感謝申し上げます。</p>		